

教育委員会 10月定例会会議録

日時 令和7年10月16日（木） 午後2時30分から午後3時31分まで

場所 総合教育プラザ22会議室

出席者

（教育委員）

教育長	吉川 真由美	教育長職務代理者	奈良 知彦
委員	畠山 正文	委員	渡辺 照子
委員	北爪 麻衣子		

（事務局）

教育次長	高松 秀光	指導担当次長	酒井 暁彦
総務課長	高橋 良祐	教育施設課長	木村 一弥
文化財保護課長	神宮 聡	学務管理課長	後藤 弘史
学校教育課長	小池 英雄	前橋高等学校事務長	岩瀬 孝弘
前橋高等学校長	高野 裕史	生涯学習課長	宇次 明
教育支援課長	安藤 尚	図書館長	齋藤 明子

【教育長】

これより前橋市教育委員会10月定例会を開会いたします。

【教育長】

直ちに 本日の会議を開きます。

【教育長】

9月定例会の会議録については、既に配付済みであります。記載事項に異議等ありませんか。

(異議なし)

【教育長】

異議のないものと認め、承認いたします。

【教育長】

議事は、議事日程第1号のとおり進めます。

日程第一。会期の決定ですが、本会議の会期は、本日一日といたします。

【教育長】

日程第二。会議録署名委員の指名ですが、本日の署名委員に奈良委員と畠山委員を指名いたしますので、よろしくお願いいたします。

【教育長】

日程第三。教育長提出の諸報告について報告いたします。

総括的報告

【教育長】

3点ご報告させていただきます。まず1点目、前橋市学校教育充実会議が10月3日に開かれました。この学校教育充実会議というのは、学校の教育現場全般を見渡し、現場の先生方と一緒に、学校教育のために何が必要なのかということ話し合う会議です。今回のテーマは、学校現場におけるエージェンシーについてでした。今、学校現場でどんな取り組みをしていて、こどもたちのどんなところにエージェンシーが発揮されているかということを校長先生方をはじめ、先生方と共有をさせていただきました。例えば、校則の見直しについてこどもたちの意見を取り入れていること、先生方はしっかりこどもを見て頑張りを認め、フィードバックを頑張っているねという言葉でしてあげることが大事だと思っていること、また、できたことばかりではなく、失敗した子に対してはチャレンジをしっかりと評価することが大事だと考えていること、などがありました。その他に、先生方が環境を整えすぎないことがこどもたちのエージェンシーを高めることにつながるのではないかと感じている、とご発言された方もいました。少し足りない部分があるぐらいが、こどもたちが自ら考えて動き出す原動力になるのではないかなというように、こどもたちも共有しました。ここで話し合われた内容をもとに、次年度の学校教育の羅針盤として

現在活用いただいている学校教育の充実指針に落とし込んでいきたいと考えています。

2点目として、前橋市交通指導員表彰式が10月7日に行われました。毎朝の登下校時に、交通指導をいただいている交通指導員の皆様、3期6年を迎えられた7名の方を表彰させていただきました。毎朝の交通指導、地域行事の時の安全確保などにご尽力をいただき、天候に関係なく毎朝出ていただいていることに心から感謝を申し上げます。

3つ目は、中学校教科別研究会授業研究会についてです。毎年行われていますが、60年以上前から、校長会が主体となって続く前橋市独自の研究会です。私は、桂萱中学校の総合的な学習の時間の発表に伺わせていただきました。桂萱中学校では、1年生では地域、2年生では前橋市、3年生では群馬県を対象範囲として、自分が地域のために何ができるかということを考える授業をしていただいています。地域貢献に視点を置いた学びを進めていただいております。授業の中では、現状、課題の抽出、そして全国の事例を研究した成果が発表されていきました。提案だけでなく、実際に行動に移して生徒自身が自ら学んでいるところを目にして、ここでもしっかりとエージェンシーが発揮されていると感じました。研究授業の後で先生方が自分の学校に持ち帰って、どうしていくかということを学び合っていたのも印象的でした。

この他、前橋では秋の様々な行事が行われております。先週末は前橋まつりでした。2日目は気持ちよく晴れましたが、初日は雨天で、しかも気温が非常に低い状況でした。鼓笛隊を一生懸命準備してきたこどもたちには大変申し訳なかったと思いました。4分の3の学校が実際には演奏することができませんでしたが、今週末には運動会があり、その練習の成果を発揮してくれるこどもたちも多いのではないかと思います。文化、スポーツなど様々な場面で地域で活躍をする場をたくさん作ってくださっていることに感謝申し上げます。11月29日には群馬県PTA大会前橋大会が開かれます。前橋市P連の方がその準備にも携わってくださいます。また社会教育に関しては図書館、文化財、生涯学習等、様々な行事があります。ぜひ教育委員の皆様にもお時間を見て様々な行事に参加をしていただきたいと思います。

以上でございます。

報告1 令和7年度全国学力・学習状況調査結果について

【学校教育課長】

資料1ページをご覧ください。1目的についてですが、本調査の目的は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することで、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること、また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てること、これらの取り組みを通じて、継続的な検証改善サイクルを確立することです。

2実施日についてですが、令和7年4月17日に行われました。

3対象についてですが、小学校6年生と中学校3年生となっております。

4調査内容については、例年実施されている国語、算数・数学に加え、理科の調査も行われました。特に中学校理科は、生徒の学習者用端末を使用しての初めてのCBT調査となりましたが、本市においては大きなトラブルもなく実施することができました。また、児童生徒の学習意欲や学習方法、学習環境などに関する質問調査も例年通り行われました。

5学校数についてですが、小学校46校、中学校20校となっており、市内全ての小中学校で実施することができました。

6本市の結果についてですが、小学校国語と理科は、全国の平均正答率を上回りました。

小学校算数は、全国の平均正答率を下回りました。中学校国語、数学は、全国の平均正答率を上回りました。中学校理科は、先ほど申し上げた通り、C B T調査となり、正答率ではなくI R Tスコアという指標が使用されておりますが、これについても全国を上回りました。昨年度に引き続き、小学校算数が全国の平均正答率を下回る結果となってしまいました。昨年度よりその差は小さくなりました。

また、児童質問、算数の勉強は好きですか、の項目において、当てはまる、どちらかといえば当てはまる、と肯定的な回答の割合は、全国が減少傾向である中で、本市は増加し、全国を上回りました。これは、小学校の先生方が、子供たちの興味・関心を高め、学ぶ楽しさを味わわせてきた成果だと考えます。今後も子供の学ぼうとする意欲を大切にするとともに、確かな学力の定着も視点に入れた授業改善が図れるよう、市教委としても指導してまいります。

次に、各教科の成果と課題の一部をご報告いたします。小学校国語では、図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができている、また、中学校国語では、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方をとらえることができている、といった成果がありました。

算数では、目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること、に課題が見られた一方、数学では、事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができている、といった成果がありました。

小学校理科では、花のつくりや受粉についての知識が身に付いている、また、中学校理科では、探究から生じた新たな疑問などに着目した振り返りを表現できている、といった成果がありました。

続いて資料2ページをご覧ください。このページから6ページが、市教委が各小・中学校に依頼した各学校の分析結果をまとめる報告様式となっております。3ページでは国語についての分析、4ページでは算数・数学についての分析、そして5ページでは理科についての分析となっております。それぞれ、表の1は全国の傾向、2は市教委が行った前橋市全体の傾向、3は各学校の傾向、そして4は分析を踏まえた各学校の今後の学力向上に向けた取組が示されております。また、6ページでは、児童生徒質問の分析を基にした、児童生徒の学習環境や生活環境の改善等に関する保護者に向けたお願いが示されております。2ページから6ページまでの資料は、授業改善に向けた校内での共有はもちろん、各家庭や学校運営協議会委員等にも伝えられております。今後、市教委といたしましては、今回の調査結果を十分に踏まえ、課題の見られる点について、計画訪問や要請訪問、教科別研究会などの機会を活用し、各学校の課題解決に向けた先生方の指導力の向上及び授業改善が図れるよう支援してまいります。

【教育長】

以上の報告について、質疑等ありますか。

【北爪委員】

この6ページのご家庭へのお願いというこの通知を、保護者として私もいただきました。今まではA4サイズで各家庭に配布されてたと思いますが、今年はすぐーで届きました。多分ほとんどの保護者の方がスマートフォンですぐーを確認することが多いと思うので、そうするとこの小さな画面でこれだけの文字数が入ってくるとちょっと受け取りづらかったというのがあったので、今後、もしまたすぐー等で配信するときには、もう少し

この小さな画面でも受け取りやすい工夫が必要かと感じました。

【学校教育課長】

以前は、確かに紙で、この様式で家庭に配布していました。それをそのままデジタル化してすぐ一斉配信としましたので、今のご意見の通りだと思います。スマホでご覧になるということを意識して、従前の形式にこだわらずにもう少し見やすい形で、次年度以降推敲していきたいと考えています。

【教育長】

北爪委員さんがお話しくださったことは、本当にすぐ一斉を通して保護者の皆さんにいろいろ連絡することが増えていきますので、今回の学校教育課だけではなくて、教育委員会全体もそのことに注目していけたらいいなと思いますので、よろしくお願いします。

【奈良委員】

保護者に通知を出して、ぜひご家庭での指導をお願いしたいということで通知を出していることはいいと思います。あとは、目的の2番目に、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるとありますが、学校によっていろいろかとは思いますが、なにか例があれば教えていただけますか。

【学校教育課長】

まず、各学校は4月に問題が配られますので、まずその問題を先生方が実際に解いてみます。解くことによって、こどもたちにどんな力が求められているか、または今の授業をどのように変えていったらいいのかということについて、学校内研修をしている学校が大変増えています。7月の後半から、各学校には国から結果が返ってきます。大問、小問ごとに、各学校の課題、または成果が数値として出てきますので、自校分について国や県と比較しながら、2学期後半に向けて授業改善の方向性を改めて確認する場を学校は設けています。この資料の作成もそのきっかけになります。合わせて、市教委としては学校教育課指導係の計画訪問の際に、市として分析した結果を指導主事から伝達し、授業改善の方向性に役立てていただきます。

【奈良委員】

ただ点数の比較で、できた、よかった、下回って困った、などで終わらずに、そのように取り組みをしてくることを非常にありがたく感じています。ぜひより良い学習指導ができるようにお願いしたいと思います。

【畠山委員】

2ページ以降はあくまでも報告の例として出されているとは理解していますが、今回算数が全国よりも下回ったということで、課題としても上がっているの、具体的にどんな設問が出ているのか興味があります。その情報がなかったので、できればこの資料の中に入っているとありがたいと思いました。

【学校教育課長】

実際の設問や、どういうところにつまずいた点が見られた部分など、具体的にお示しす

るのも大事だと考えておりますので、次年度以降お示しできるようにしたいと思います。

【渡辺委員】

学校教育課長の表現をお聞きしていて、特に算数のところに関してですね、問題志向ではなく解決志向で捉えている様子が伝わってきました。そういう教育委員会側の思いや考えは、指導主事さんを通じて現場の先生方に届くと思いますので、ぜひ、これから良くなるために、意欲をさらに充実させて取り組んでいただきたいと思います。課長の言葉が伝わっていると思いますので、その辺が安心できる場所だと感じました。

【教育長】

これを見ていろいろお感じになるところがあるかと思いますが、算数を伸ばすためには算数だけを考えていけばいいのか、いろいろあると思います。やはり普段の生活の状況をどうするのか、問題を読み解く国語力がしっかりとついているのか、そうしないとやはり算数というものが解けないかもしれない。より深いところの分析が私は必要だと思っています。それぞれに成果と課題をもう一度見直していただけるといいなと思います。算数は好きというこどもが多いということなので、そこはしっかりと伸ばしていけるといいと思います。

【教育長】

ほかになれば、以上で質疑を終わります。

【教育長】

日程第四。その他について報告事項があります。説明をお願いいたします。

その他 1 行事について

【総務課長】

教育委員会の 11 月定例会でございますが、11 月 13 日木曜日午後 2 時 30 分から、総合教育プラザ会議室において開催予定です。（ほか、資料の主だった予定を紹介）

教育委員会の 12 月定例会につきましては、12 月 15 日月曜日午後 2 時 30 分から、総合教育プラザ 22 会議室で開催予定です。（ほか、資料の主だった予定を紹介）

その他 2 新出土文化財展 2025 の開催について

【文化財保護課長】

資料の 10 ページをご覧ください。

文化財保護課では、毎年市内各所において埋蔵文化財の発掘調査を実施しており、昨年度も数多くの遺構や遺物が出土しました。昨年度の発掘調査成果を広く市民に知っていただき、文化財に対する興味・関心・理解を深めていただくため、新出土文化財展 2025 を開催いたします。

まず、1 の開催日時についてですが、令和 7 年 10 月 28 日火曜日から 11 月 9 日日曜日まで、開館時間は午前 9 時から午後 5 時となります。なお、11 月 4 日火曜日は休館となります。

次に 2 の会場ですが、臨江閣別館 1 階の西洋間になります。

3 の入場料につきましては、無料となります。

4の内容につきましては、令和6年度に市内各所で実施した発掘調査成果の展示になります。

主な展示遺跡と展示遺物については、11ページの開催チラシをご覧ください。

写真にありますように、今回は茂木諏訪東遺跡No.2より出土した大型の縄文土器をはじめ、古墳時代から中世にかけての土師器・須恵器などの土器や前橋城に関連する遺構より出土した中世から近代にかけての陶磁器などを展示予定です。

なお、昨年度に引き続き、今年度も市立前橋高校の生徒さんに監視ボランティアの募集を行う予定です。加えて、前橋国際大学の野口華世教授より、歴史学を学ぶ学生に対してボランティア希望者を募ってくださるとの申し出がありました。学生の皆さんの力をお借りしながら、新出土品展の円滑な運営を行いたいと思います。

説明は以上です。

その他3 粕川歴史民俗資料館 令和7年度秋期企画展の開催について

【文化財保護課長】

資料の12ページをご覧ください。

粕川歴史民俗資料館では、毎年、春と秋の年2回、企画展を開催しており、考古学ファンをはじめ多くの来場者から好評を得ております。

今回の企画展では、宇通遺跡再び―赤城山山中の寺院遺跡を探る―をテーマとして開催いたします。

まず、1の開催日時ですが、令和7年10月25日土曜日から令和8年3月1日日曜日まで、開館時間は、午前10時から午後4時までとなります。

なお、月曜日及び火曜日は祝日の場合を除き休館となります。

次に2の会場ですが、資料館の第1展示室になります。

3の入場料につきましては、無料となります。

4の内容ですが、宇通遺跡で検出された遺構や出土遺物から山岳寺院としての位置づけを考えるものです。

主な展示資料は、宇通遺跡から出土した寺院関連の遺物を中心に展示し、あわせて関連する他の遺跡からの出土品も展示します。

なお、会期中に関連講座として、計5回の講演会を予定しております。

5の開催チラシは、13～14ページのとおりです。

以上でございます。

その他4 まえばし学校フェスタ2025について

【学務管理課長】

資料15ページをご覧ください。

1の趣旨についてですが、本フェスタは、各学校・園の日頃の教育活動の成果を発表し、学校文化を広く市民に知っていただくことを目的として開催しており、今回で14回目となります。

3の共催についてですが、本フェスタは、市内6つのロータリークラブとの共催により開催しております。前日の会場設営・作品展示等の準備から、当日の運営、終了後の撤収作業まで、教育委員会事務局とロータリークラブの方々が、3日間にわたってスタッフとして活動し、運営しております。

開催日時、会場、内容等については、資料に記載のとおりとなります。

昨年度は入場制限なく実施することができ、2日間の来場者数は、延べ8,385人で過去最多となりました。

今年度も、市のホームページやSNS等を活用した広報活動を行い、より多くの子どもたちや保護者、市民のみなさんに前橋の学校文化を知っていただく機会にしたいと考えております。

以上でございます。

その他5 第1回前橋市社会教育アドバイザー会議の開催結果について

【生涯学習課長】

資料の16ページをご覧ください。

開催日時、場所、出席者については記載のとおりです。

次に、社会教育アドバイザー会議の開催目的としたしましては、本市社会教育について今日的・全国的課題と地域的課題の両面から検討し、社会教育にかかる目標設定の指針となる中・長期的なビジョン、社会教育ビジョンをまとめるため、有識者から助言を頂くとともに、意見交換を行うこと、となります。

また、第1回会議の主な議題につきましては、記載の(1)から(3)のとおりです。

結果概要ですが、(1)の委嘱状の交付については、オンライン会議で実施したため、後日、郵送または手渡しすることにいたしました。なお、4名の委員については次のとおりです。

井熊ひとみ委員、佐藤博之委員、牧野篤委員、茂木勇委員です。

次に、(2)の委員長の就任については、大正大学教授、東京大学名誉教授の牧野篤委員長が選出されました。

また、(3)の協議については、まず事務局から、これまでの社会教育委員会会議での議論などの経過や作成までのスケジュールを説明しました。その後、各委員による議論から意見等を賜りました。また、また最終的にこのビジョンを誰が出すのかという委員からの質問に対しては、現時点では教育委員会として出すことを考えている、と市教委事務局からお示ししました。

その中から、主な意見をご紹介します。

これからビジョンを作成していくということで、杉並区でも以前議論されたことがあります。当時のビジョンの作り方は、5年計画・10年計画といった目標達成型で、何年後にこうなっていないといけない、というような形式でした。しかし、今はそういう時代ではないのではないかという話になり、むしろ羅針盤や北極星のように、方向性を示す形に変えていくべきではないかという考え方が出てきました。

ビジョンは出しっぱなしにするのではなく、常に何かの題材として使いながら、自分たちが目指している社会とは何かを、それぞれが議論し続けるような町ができていく。そうなってくると、とてもありがたいなと思います。

前橋市ではめぶくというテーマがあり、民間主導の取り組みも注目されています。そうした流れの中で、地盤を耕すという表現はまさに渡りに船であり、耕すためにやるんだと言えば、ずっと社会教育が市民の方々に落ちるのではないかと感じています。

以上でございます。

追加報告

【文化財保護課長】

資料はお示ししていませんが、11月1日から文化財に関するアンケートを実施します。現在、前橋文化財保存活用地域計画という、文化財のマスタープラン兼アクションプランのような計画を作成中です。臨江閣や指定文化財などは当然文化財保護課として把握していますが、それ以外に未指定の文化財、地域の人しか知らないような文化財がいくつも眠っていると思います。うちの地域にはこんなものがある、というのをぜひ地域の皆さんから答えてもらおうべく、アンケートを実施します。あとで資料はお送りさせていただきますので、委員の皆様もぜひ紹介してください。よろしくお願いします。

【教育長】

有形無形の地域のお宝を知らせてほしいという意味ですね。

【文化財保護課長】

そうですね。なんでもいいです。山でも風景でも食でもお餅でも。

【教育長】

総務課からの行事予定で、次回の定例会についてですが、11月13日（木）午後2時30分でよろしいでしょうか。

（異議なし）

【教育長】

では、11月定例会については11月13日（木）午後2時30分からと決定いたします。

また、12月定例会については12月15日（月）午後2時30分から予定することで、よろしいでしょうか。

（異議なし）

【教育長】

では、12月定例会については、12月15日（月）午後2時30分からで、お願いいたします。

ほかに、ただ今の報告について質疑等ありますか。

【渡辺委員】

国際理解講座についてですが、去年もご案内をいただいたと思いますが今年の応募状況等はいかがですか。

【学務管理課長】

昨年度は60名の応募がありましたが、今年度は半分の30名となりました。ただ、30名の中で12名から13名が昨年度も参加してくれており、先日の土曜日に第1回目が行われましたが、昨年度参加してくれた子たちが初めて参加してくれた子をリードしてくれるような、そんな雰囲気で行えました。また、昨年度の反省を活かし、昨年度は3人の留学経験者の話を講義型で中学生が聞くという形でしたが、今年度はグループ分けをして

実施しました。6人の留学経験者の大学生に来ていただき、時間を区切って、6人の学生がそれぞれのグループを回っていくという形で、より身近に大学生と会話をする形が取れたので、非常に充実した第1回目になったと思います。参加した中学生たちは、来月の第2回目を楽しみにして帰ってきました。

【渡辺委員】

今年の状況が来年の応募意欲や巻き込みにもつながると思いますので、ぜひ充実して進めていただければと思います。

【北爪委員】

11月9日のまえばし図書館まつり高等学校連携事業ですが、主婦目線からすると農産物の直売販売会とか、親目線からするとふれあい動物園とか、非常に楽しそうなイベントだと思います。こういった高校がこういった経緯でこのお祭りに参加することになったのでしょうか。

【図書館長】

まえばし図書館まつりは、10月27日から11月9日まで読書週間の中で行われております。高等学校連携事業ということで、1年間、勢多農林高校さんと活動してきました。図書館を使って高校生が色々な発表をしたり、図書館としてはそれに関連する本を館内に並べたりして、お互いの事業を見せ合うような形で実施してきました。その引き続きで、こういうイベントごとがあるときにお声掛けし、学校からも発表の場がほしいということから、農産物の販売を生徒さんがしたり、動物科学科の動物と触れ合える場所を作ったりと、勢多農林高校さんにご協力いただいています。図書館としては、関連する本を並べて借りていただけるようにアピールしたいと思います。

【北爪委員】

普段なかなか行きづらい方も、こういったイベントがあると、足を運びたくなるかなと感じています。図書館のインスタグラムをフォローさせてもらっていますが、本当に色々なことを発信されているので、幅広い方々に見ていただいて、来ていただけたら嬉しいなと思います。

【渡辺委員】

12月6日のプラネタリウムコンサートは、どのような行事でしょうか。

【教育支援課長】

今年度2回の実施予定で、1回目は8月に行いました。

児童文化センターのメイン施設であるプラネタリウムと、ジュニアオーケストラを指導してくださっている先生方が中心となったオーケストラを融合させて、プラネタリウムで星空を見ながら音楽を聴いていただくものです。8月の時には、午後に2回開催しましたが、100席のうち40席くらいは演奏者のために使ってしまうため60席くらいしか席はないのですが、もう両方ともいっぱいになり、本当に大盛況で聴いていただきました。

15分から20分くらいの演奏をしていただいて、星空にも興味を持っていただいて、また、星空に興味ある方も音楽に興味を持っていただいて、という内容になっております。

もしお時間があれば楽しんでいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

【渡辺委員】

星は冬に向けて綺麗になる季節でもあるので、雰囲気的にも非常にいい時間になりそうですね。

【畠山委員】

社会教育アドバイザー会議ですが、以前に社会教育ビジョンだったか冊子のようなものをいただいた覚えがありますが、それに関する会議なのか、それを新たに作り変えるみたいな会議なのか、関連性があるのでしょうか。

【生涯学習課長】

以前お渡しした冊子は、社会教育委員会会議の提言書かと思います。社会教育委員会会議は法定の協議会で、12人の委員で年4回実施し、教育長の諮問に対して、現時点での課題を中心として答申ということで6月に提言書を出しました。

人生100年時代に向けてというセミナーを実施しましたが、人が生涯にわたって学び、成長するために学校、公民館、図書館という教育施設だけにとどまらず、色々な形でウェルビーイングを高める社会教育の重要性が高まっています。そこで、社会教育委員さんとは異なる専門家による長期的な視点で、ビジョンという形で社会教育の目標設定の指針を定める必要があるのではないかということで、改めて社会教育アドバイザー会議を設置したものです。

社会教育委員会会議と切り離すものではなく、アドバイザー会議で出たことを社会教育委員会会議の方に話を持って行って、お互いに色々なことを協議し合う形にはなるのかと思っています。

【畠山委員】

より発展させていく目的、イメージですね。

主な意見で、本当にすごく大事な話をされていると思いました。かつての目標達成型から羅針盤や北極星のような、というのはとても大事なお話で、社会教育もそうですし、学校教育も多分こうあるべきなのではないかなと思っています。本当に多様な動きを大切に、目的や目標は共有するけれどもそれで縛らずに、これはダメだとか、こうじゃなくてこっちの道で行きなさいみたいな、そういう教育をしようとおそらく意欲や動き自体が止まってしまうと思うので、この話はとても響くなと思いました。

【生涯学習課長】

報告書の中で説明不足になってしまった点がありました。一番最初の意見に唐突に杉並区という言葉が出てしまったのですが、今回委員長になっていただきました牧野篤先生が、杉並区教育ビジョン2022に携わっておられました。前橋市の教育振興基本計画や総合計画も課題解決型、目標達成型ですが、牧野先生が杉並区の他に国の中教審で教育振興基本計画にも携わっている中で、やはり5年も10年も先のことはわからない、羅針盤型がいいのではないかなというような話が出たそうで、そこから杉並区という言葉が出たものです。

社会教育ビジョンも、そういった議論の中で、羅針盤、北極星型も一つとしてどうか、

というような話をしたいと思います。

【渡辺委員】

私も社会教育の動きはすごく興味を持っています。ビジョンを出しても、それを育まなければただの絵に描いたものみたいになってしまうと思うので、主な意見欄の2つ目のご意見も非常に貴重だと思います。知り合いの方から、ビジョンは色あせる、描いてもすぐに色あせるものだから鮮やかな状態を維持し続けることが大事だ、というのを聞いたことがあり、まさに同じことをおっしゃっていると思います。盛んに色々な探索が進められていくことに応援の思いです。

一点確認させてもらいたいのが、結果概要の下から3行目に、現時点では教育委員会として出すことを考えている、というビジョンを出す主体について表現がありますが、他の可能性や、現時点という言葉が使われている意味を教えてくださいたいと思います。

【生涯学習課長】

ビジョンを誰が出すのかという話の中で、その時には教育委員会が一応主体として出させていただきます、という回答をさせていただきました。それに対し色々意見が出ましたが、その意見の中で、教育委員会が出すイコール教育委員会がやる、という印象になってしまって、市民がサービスの受け手になってしまうという懸念がある。教育振興基本計画や行政ビジョンと同様で、行政がやりますと言うと市民はそれを受け取るだけという構図になりがち、というような話が出ました。ですので、主語として私たちがという文言を入れることによって、行政だけがやるのではなく皆さんに携わっていただきます、皆さんと議論しています、というような形になるのではないかという意見も出たものですから、ここで決めつけてもどうなのかと思い、現時点という言葉を使わせていただいた次第です。

【渡辺委員】

そのようにして、形を工夫しながら進めていくことで、結果として良いものが社会、市民に届くことになると思うので期待しております。

【教育長】

学校教育には、学習指導要領があって、明確に決まっているものがありますが、社会教育は前橋に住むすべての人を対象としていて、本当にこの多様な社会をどのように学びで支えるのかということが方向性として示せるといいなと思います。社会の学校というものはないし、学習指導要領みたいなものはないけれども、このビジョンにより、みんなでこういうまちを作っていこうよ、こういう学びのまちを作っていこうよというような、報告に書いてあるような羅針盤、北極星のようなビジョンが作れたらいいなと思います。社会教育委員会議の中で、長期的に社会教育をどうしていくのかを話すタイミングに来ているだろうというお話があって、今回のビジョン策定に向けた話になっているのですが、4名の委員さんからのご意見は本当に刺激的で、どういうところに落ちていくのか私も楽しみにしているところです。また、第2回、第3回とありますので、報告をさせていただきたいと思います。

【奈良委員】

市立高校の校長先生がいらしているので2点お聞きしたいのですが、台湾の修学旅行の

準備がどの程度できているのかということと、大まかでいいですが現3年生の進学先の動向を教えていただければと思います。

【前橋高等学校校長】

我が校で初めて海外修学旅行を11月25日から28日まで、3泊4日で実施することになりました。生徒たちはもうすでに台湾についてのリサーチを終えています。沖縄の修学旅行と違って平和学習がない分は、現地の高校生との交流授業を実施する予定となっています。ウェブ会議等で現地の先生方や生徒さんと顔を合わせて打ち合わせも済んでいます。今一番の悩みはお土産に何を持っていくかということでそれは校長が決めなきゃいけないということで、ちょっと悩んでいます。前橋高校はグローバル教育の推進を掲げている中で、色々な取り組みをここ何年か実施している中で、その最終的な目標を修学旅行と位置づけていますので、是非生徒には本当にエージェンシーを発揮してもらって、現地の人や高校生との交流、様々な体験をして、自分たちの信念、人生にプラスになってくれればいいなというような思いで計画をしています。また帰ってきたらいいご報告ができるようにしたいと思います。

3年生の進路ですが、大まかにまず言うと、もうすでに専門学校等の入試等が始まっています。専門学校のAO入試とか推薦入試はほぼ出願が終わって、ちょこちょこ合格者の発表もあります。やはりうちの学校ですと、約3割の生徒は専門学校の進学を考えていて、1割に満たない生徒が公務員などの就職を考えています。残りの7割が大学進学を考えています。これからAO入試、今は総合型入試選抜と名称が変わりましたが、先週から少し始まっています。その後に、学校推薦型のいわゆる公募の入試や指定校推薦入試が始まり、実力で共通テストで難関大学にチャレンジをする生徒は、その7割の内の半分くらいというような状況です。今年度は昨年度よりチャレンジする生徒が多くて、国公立の志望人数は若干増えている状況です。一昨年が33名受かりましたので、それを超えるような目標を設定して、生徒たちには取り組ませている状況です。ただ、自分たちのやりたいものが必ずしも国公立ではないという傾向が最近があります。各大学が特色を大きく出しているところでもありますので、進路指導部と担任と学年で十分によく話し合いながら、生徒の進路指導に当たっています。

大学入試も、一般入試の割合がどんどん下がり、今後は総合型入試や公募入試のウェイトが高くなっていくという感じです。その入試を突破するには、先ほども言った通り、普段からエージェンシーの発揮、生徒が本当に自分で課題を見つけて、課題を解決するような力をどんどん付けていかなければならないと思います。それには、やはり本校が今実施している探求活動をもう少し充実させて、今度模擬議会でお世話になりますが、色々な方面から市当局の皆さんに提案をさせていただいて、できれば採用してもらいたいような提案をしようと考えていますが、そういった活動が大学の方でも大きなウェイトを占めていることがありますので、今後の受験対策を図っていきたいと考えています。

【奈良委員】

修学旅行については、ただ楽しかったという思い出だけではなくて、やはり生徒の将来につながる、視野を広げる、グローバルな視点を持った育成というような話がありましたので、ぜひ健康に留意して成果を挙げていただければと思います。

今までも市立前橋は落ち着いたいい学校だったけれども、よりこれから世の中で必要とする人材を育てようということで、校長先生に期待していますので、教育委員会とぜひ連

絡をよく取り合って、前橋市で唯一市立としてある高等学校なので、県立学校との違いを出して、特色のある、魅力のある学校を作ってほしいと思います。それが選んでくれた生徒たちの将来につながって、信頼される学校づくりになると思うので、ぜひ、時々こういう報告をしてもらえるとありがたいと思います。

【教育長】

教育長の総括的報告で申し上げた桂萱中学校での総合的な学習の時間の発表にすごく驚いたのですが、3年生の修学旅行の発表で、私たちはこういう視点を得てきたというのがパワポ資料の中に含まれていました。本当におっしゃる通りに、楽しいだけの修学旅行ではなくて、いかにそこで学べるか、学んできたかということを感じました。台湾の修学旅行でも、グローバルな視点をこんな風に培ってきたというのが高校生模擬議会などでも出てくると非常に楽しみだと思います。市立前橋高校も注目をされていますので、さらにご尽力いただけたらと思います。

【教育長】

ほかになれば、以上で質疑を終わります。

【教育長】

以上をもちまして教育委員会10月定例会を閉会いたします。

(午後3時31分)